



2016年11月11日(金) 高知市

日本糖尿病学会 中国四国地方会第54回総会

女性医師ワークショップ

女性医師を取り巻く社会の変化 ～地方からの視点～

南国いのうえクリニック

井上 眞理



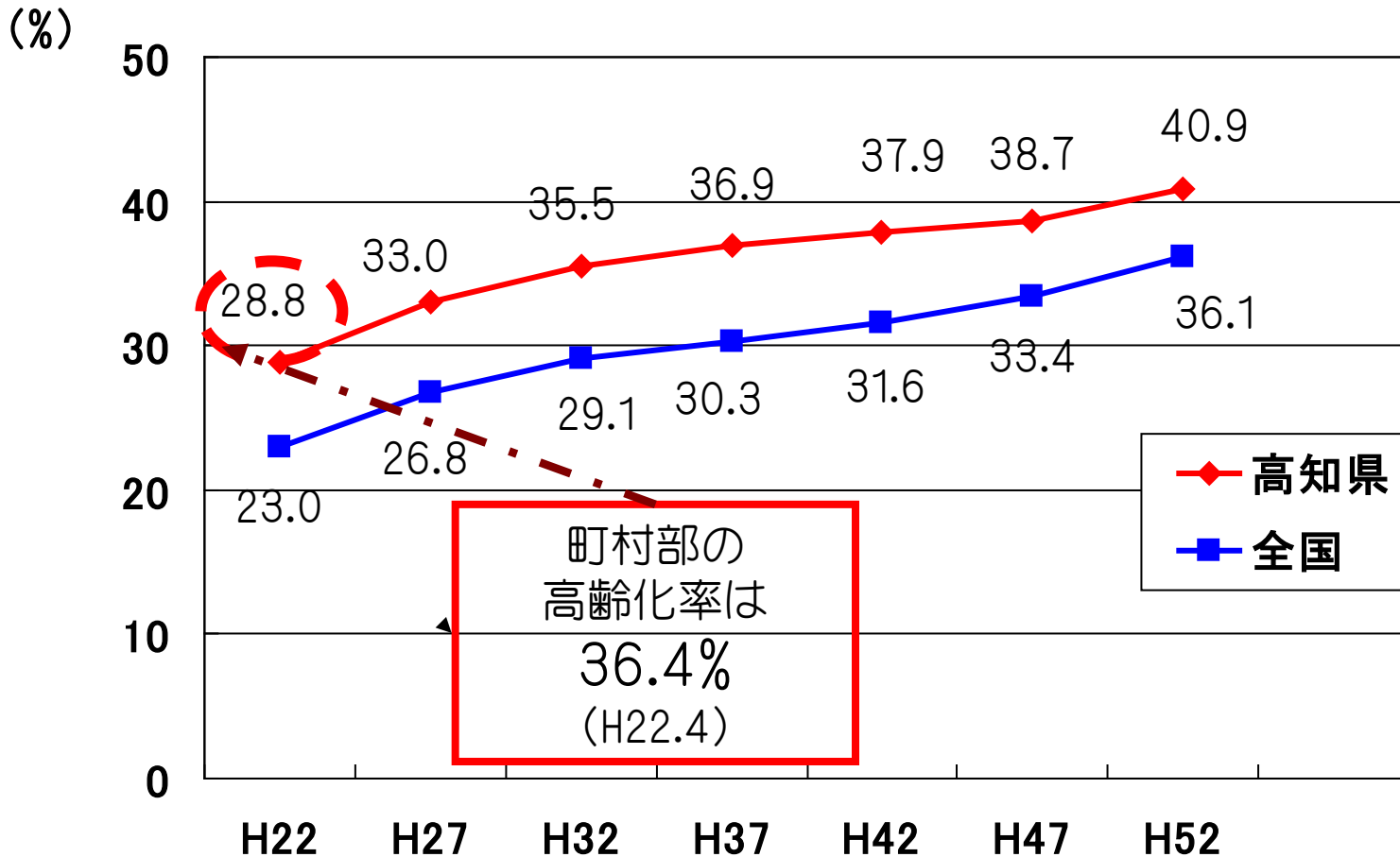
高知県の人口・面積

四国の 人口5万人以上の自治体



都道府県別65歳以上人口の割合

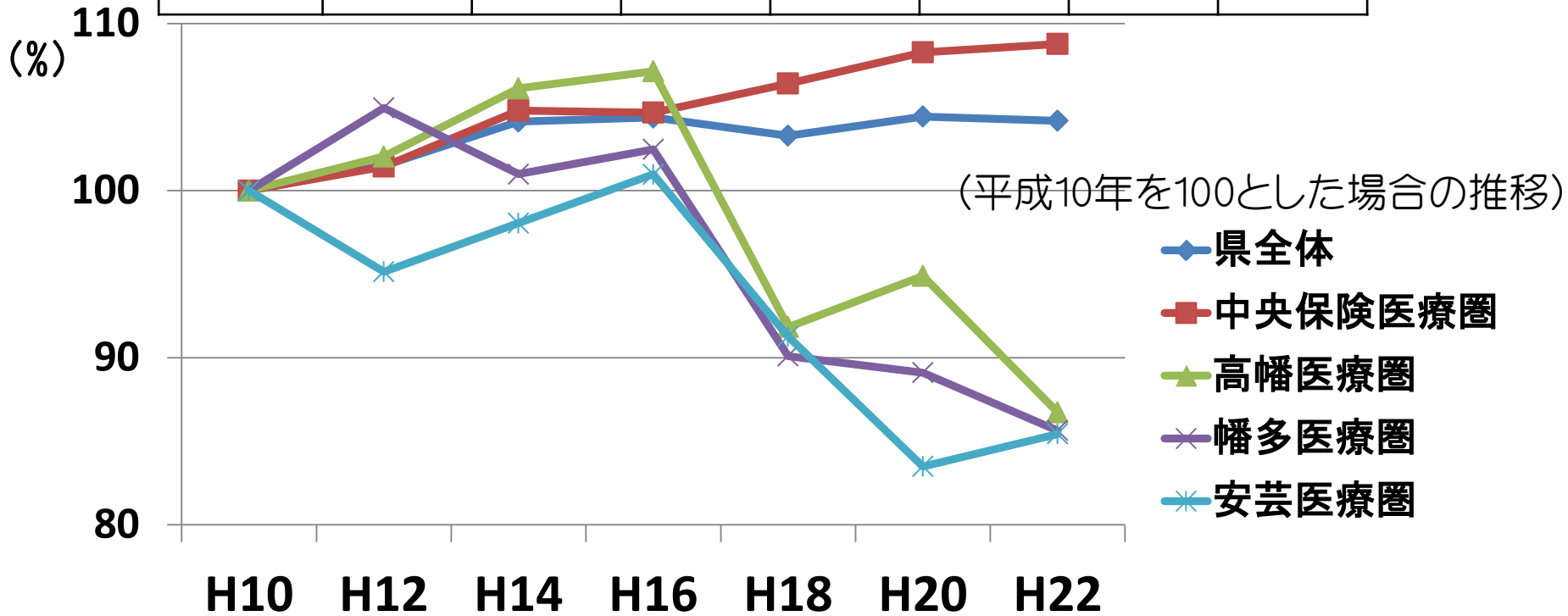
高知県の高齢化率の上昇は全国に先行しています





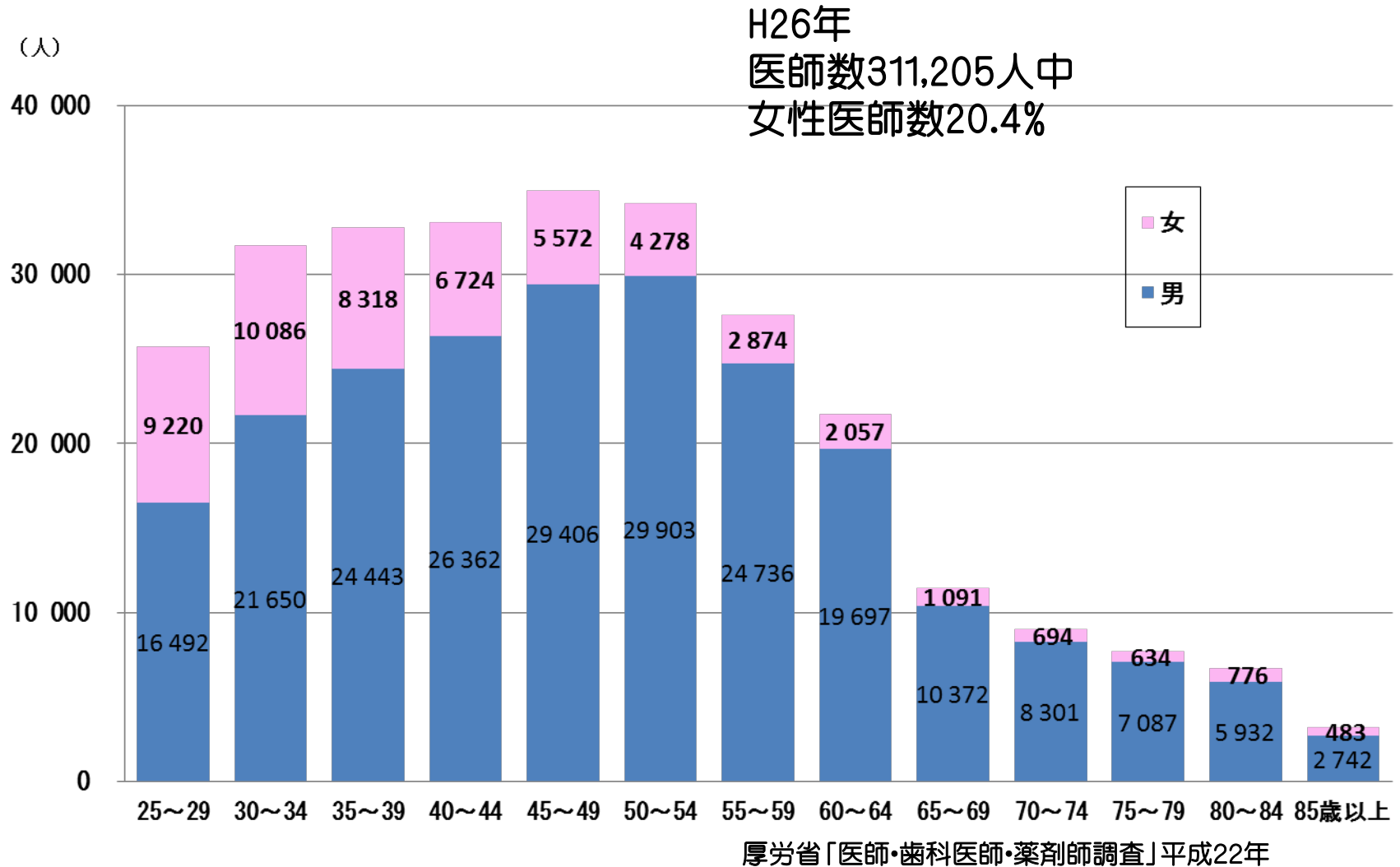
高知県内部でも中央圏以外での医師数は減少している

年	H10年	H12年	H14年	H16年	H18年	H20年	H22年
高知県	2,011	2,041	2,094	2,099	2,077	2,100	2,095
安芸	103	98	101	104	94	86	88
中央	1,608	1,631	1,685	1,683	1,711	1,741	1,749
高幡	98	100	104	105	90	93	85
幡多	202	212	204	207	182	180	173





年齢階級別医師数の男女比





女性のキャリア形成

皆さんは、どんな思いで
医師を目指しましたか？

そして大学卒業
研修
自らのライフステージの変化

臨床医

研究者



大学病院での業務

臨床

入院業務

外勤業務

コメディカル指導
チーム編成

外来業務

クリティカルパス
作成や見直し

糖尿病教室など
の運営

後進指導

教育

学生授業・指導

大学業務
運営・入試など

医局

医局運営

医局行事

局員勧誘・説明会

研究

実験

データ集め
統計

学会発表

論文作成

治験

共同研究

後進育成

病院運営

運営委員会など各
委員会活動

地域貢献

講演会

学会・研究会運営

医療行政貢献

医師会

行政

ダイバーシティの取り組み
…とはいうけれど



女性医師の会を作る試み1 高知女性医師の会(KWDC)

2011年6月発足

高知大学内科4科の女性医師が世話人となり、
生活習慣病に関わる予防・治療について高知県
で医療に携わる女性医師の観点から専門領域
を超え検討・討議すること

年2回の講演会を行う

2013年3月で休会



何が問題だったのか

内科4科助教以上の女性医師数

- 燃えつき症候群
- キャリアの先行き不透明感からの意欲低下
- 指導的立場への意欲の欠如
 - 働き方におけるWLBの欠如
 - 恒常的な長時間労働や時間あたり生産性に関する意識不足
 - ロールモデルの欠如
 - 固定的性別役割分担意識
 - 子育て支援サービスの不足



女性医師の会を作る試み2 内科学会四国支部女性医師の会

2011年5月発足

当初大学在勤で助教以上かつ総合内科専門医資格を有する
女性医師

高知4名、香川1名、徳島2名、愛媛0名で発足

当時の会長の強いコミットメントで発足

年2回の学会時の女性医師主催セミナー

メーリングリストの作成

学会時の情報交換会

トップの強いコミットメントと戦略としての明確化



疲弊した地方を支える医療の視点

人的問題

研修医制度による地域医療の疲弊 医師不足

休職した医師の代替医の不在

医師・専門医の地域での偏在

医師数が少なく専門医を対象として女性ネットワークが作りにくい

社会資源の問題

保育所など地域サービスの偏在

ベビーシッター、家事代行業などソフト面の立ち後れ

地域でのニーズの問題

かかりつけ機能など内科分野全般の初期対応が求められる

災害医療の担い手としての期待

医療過疎地域への医療供給

糖尿病専門のみでの需要は限定される



何がやりたいのか！

自分自身のキャリアをどう形成したいのか
実は多様な選択肢がある

国や社会制度に
求めること

職場に求めること

個人にできること

糖尿病専門医の
キャリアのため学
会に求めること

将来を見据えたキャリア形成